



村瀬幸雄 会長あいさつ

東海環状自動車道岐阜県西部地域建設促進期成協議会 総会開催

物流・観光等の経済活動活性化のための 道路整備を強力に推進

8月21日、岐阜グランドホテルにて県内5商工会議所と17商工会で構成する東海環状自動車道岐阜県西部地域建設促進期成協議会の総会が開催され、任期満了に伴う役員改選で村瀬幸雄会長(当所会頭)が再任されました。

村瀬会長は「東海環状自動車道西回りルートは、令和8年度までに全線開通するとの見通しが発表されるなど、ゴールが見えてきた。これにより、まさに文字通り岐阜・愛知・三重が環状に結ばれ、観光道路、物流道路とし

て一段高い役割を果たすこととなる。引き続き完成に向けて力をあわせ、熱意をもって取り組みたい」とあいさつ。総会では、本年度の事業計画、予算、決議文などが原案通り承認されました。

また総会に引き続き、国土交通省中部地方整備局等によるこの地域の交通インフラについて、最新の整備状況や事業計画等についての説明会が開催されました。

建設事業説明会

東海環状自動車道等の整備状況につきまして、現在の事業概要をご説明させていただきます。

東海環状自動車道は、昨年度大きく進捗しました。大野神戸ICと大垣西IC間が令和元年12月に、山県ICと関広見ICが令和2年3月に開通。また、課題であった岐阜県と三重県の

県境部の開通の見通しが令和8年と公表することが出来ました。

本年度も、西回りルート全線が令和8年度までに開通するよう、鋭意事業を進めてまいります。

東海環状自動車道の機能は、その名の通り環状道路というところでございます。既に中京圏には放射状の高速道路ネットワークが完成しており、東海環状自動車道はそれを環状道路とし

西回り区間完成・全線開通には、沿線各地の経済発展、地方創生、広域観光・国土強靱化などの大きな効果が期待されます。



国土交通省
中部地方整備局岐阜国道事務所長
桑野真一郎 氏

状自動車道の最大の機能といえるかと思えます。また、沿線の工業団地の立地が非常に進展しています。製造業の従業者数あるいは製造品出荷額は、いずれも非常に高い伸びを示しています。これが、西回りルートが繋がることで今後どこまで伸びていくかと期待されていることかと思えます。

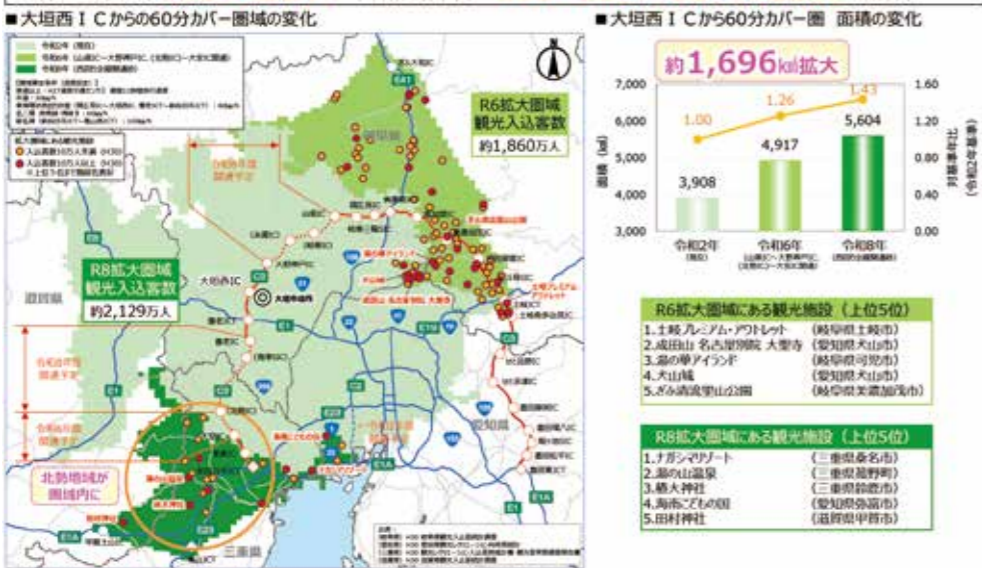
観光面では、西回りルートが既に整備済みの東回りと一体となることで、大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台となつている名所を連結していきます。こういった地理的な効果により、周遊の活性化ということも期待されることろです。

一方で医療の観点からは、これから整備が進む(仮称)岐阜ICの近郊には岐阜大学の医学部があります。このICと岐阜大学がほぼ直結することになり、東海環状自動車道が救急医療を支援するといったことが言えると思えます。

また、図1は大垣西インターを起点にして、60分間でどこまでいけるかを示しています。大垣西インターを含むいちばん薄い緑は、現時点で、60分間で行けるエリアを示しています。そこから一段濃くなる関市・美濃市・郡上市周辺は、令和6年度に西回りルートの山県ICと大野神戸ICが繋がることにより、この60分間圏域として拡大するエリアです。地図南部の更に緑が濃い地域は、令和8年度に県境部分が増えることにより60分間圏域に拡大するエリアです。いずれも北へ、南へと圏域が広がるということなのですが、この拡がり方というのが東海環状自動車道の特徴を示しております。北側のエリアでは東海環状自動車道に沿って拡がっていますが、南側のエリアは東名阪、新名神といった既に整備されている放射道路に沿って広がっています。通常、道路の60分間圏域と示すと当該道路に沿って圏域が広がっていくもの

東海環状道西回りの全線整備による地域間連携の強化に期待

○大垣市からの生活圏域(60分カバー圏)は、東海環状道西回りの令和6年、令和8年の段階的な開通に伴い、1,696km²(約43%)拡大。北勢地域が圏域内に入り、観光振興など岐阜県西部地域と三重県北部の連携強化に期待。



の取り込みなどは極めて大きなものがあります。東海環状自動車道の全線開通への期待は一層拡がるのではないかと思います。

次に、コロナ禍であっても東海環状自動車道が必要であるということをますます訴えていく必要があると思えます。特にコロナ禍で各製造業が製造拠点を国内回帰させる、既に国内にある拠点多分散化させる、といった動きは既に出てきています。このようなことを考えると、製造拠点を道路ネットワークとして結びつける、東海環状自動車道のような基幹となる道路はより物流を支えるという観点で必要性があるといえるのではないかと考えます。

地元の企業につきましてもそういった動向があればどんどん情報提供していただきたいと思えます。

引き続き、皆様方のご協力をいただきながら事業を進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。